



平成 30 年 8 月 3 日

各 位

会 社 名 クリヤマホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役CEO 能勢 広宣  
(コード番号 3355 東証第 2 部)  
問合せ先 取締役経営企画部長 二見 毅  
(TEL 06 - 6910 - 7023 )

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 2 月 14 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

平成 30 年 12 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A )	26,300	1,000	1,260	700	71 円 80 銭
今 回 修 正 予 想 ( B )	26,030	1,270	1,630	1,060	108 円 77 銭
増 減 額 ( B - A )	△270	270	370	360	
増 減 率 ( % )	△1.0	27.0	29.4	51.4	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 12 月期第 2 四半期)	24,537	1,115	1,349	2,085	205 円 43 銭

#### 2. 修正の理由

当第 2 四半期（累計）の連結業績につきましては、当初業績予想を検討した際には、北米経済が堅調である事は認識していたものの、トランプ政権の経済政策を懐疑的に見ている市場の噂もあったため、業績予想は容易ではありませんでした。しかしながら、堅調な北米経済を背景に、北米事業におきましては農業市場・建設市場向けホースや飲料用ホース、オイル&ガス市場向けホースなど、全てのホース販売が堅調に推移いたしました。また、アジア事業におきましても、産業資材事業の排ガス規制に対応する尿素 SCR センサー及びモジュールタンクの売上が好調に推移したことや日本国内のインフラ投資も旺盛な事から、スポーツ建設資材事業が総じて好調に推移し、売上高は概ね業績予想通りとなりました。

利益面では期初に想定していた原材料価格の高騰による影響が比較的小さかったこと、為替相場においてはドルに対して各通貨が弱含んだため、ドル建て資産において為替差益が出たことや、大幅なアルゼンチンペソ安も同様の理由から為替差益を生み出した事が増益要因となっております。特に四半期純利益は業績予想を大きく上回る見込みとなりましたが、これは業績予想策定時に、北米の減税効果が未確定であったため、それを見込んでいなかった事が主な要因であります。以上により前回発表予想を修正いたします。

なお、通期連結業績予想につきましては、当社は北米事業の占める売上比率が高く、今後のトランプ政権の動向を引き続き注視する必要があること、また、為替や原油価格の動向も不透明であることを勘案し、現時点では前回発表予想を据え置き、見直しなどが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

また、第3四半期以降の想定為替レートは下記の通り、実勢相場を反映したものに變更しております。

### 3. ご参考

想定為替レート

[今回改訂] 1米ドル=110円

[前回公表時] 1米ドル=115円

(注) 上記の業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成しており、最終の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上